

観 政 第 531 号

令和 8 年 1 月 9 日

県内観光関係団体・事業者等各位

大分県商工観光労働部観光局

観光政策課長 相本 健二

「令和 7 年度大分県版観光 DMP 活用研修会」（第 1 回・第 2 回）開催のご案内

平素から県観光の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、県では、観光 DX の推進及びデータに基づく観光地経営の高度化を目的として、「おおいた観光データカタログ（大分県版観光 DMP：データ・マネジメント／マーケティング・プラットフォーム）」を構築中であり、近日中に公開予定です。

つきましては、実務で活用いただくことを目的として、県内観光関係団体・事業者等を対象とした「大分県版観光 DMP 活用研修会」を開催いたします。

本 DMP は、宿泊・消費などの多様な観光関連データを一元的に集約し、市町村等観光関係団体の皆様がエビデンスに基づいた政策立案・プロモーションを行うための基盤として位置付けており、本研修会では、DMP の構成概要等の説明に加え、DMP を活用したターゲット設定やマーケティング戦略の考え方等について理解を深めるものです。

ご多用のところ恐れ入りますが、ぜひご参加の程よろしくをお願いします。

記

1 研修名

「令和 7 年度大分県版観光 DMP 活用研修会」（第 1 回・第 2 回）

2 実施内容

観光庁「観光地域マーケティングガイドブック」の考え方を基礎に、観光マーケティングの全体構造・環境分析・戦略策定におけるデータの読み方、DMP ダッシュボードを用いた課題整理を中心に、計画段階で必要となる”思考の型”を整理するもの

3 対象者

県内観光関係団体・事業者等（DMO・観光関係団体・観光関係事業者の実務担当者、自治体観光担当職員 等）

4 主催

大分県商工観光労働部観光局観光政策課

5 内容

《第1回研修会》

(1) 日時：令和8年1月28日(水)・29日(木) 13:30～16:30

(2) 実施方法・場所：以下の会場にて集合研修を実施

令和8年1月28日(水)	令和8年1月29日(木)
日田会場(大分県西部総合庁舎大会議室)	宇佐会場(大分県北部総合庁舎大会議室)
日出会場(大分県日出総合庁舎大会議室)	竹田会場(大分県豊肥総合庁舎大会議室)
佐伯会場(大分県南部総合庁舎大会議室)	大分会場(iichiko 総合文化センター中会議室)

※順不同。全て同じ内容ですので、希望の会場にご参加ください。

※都合が合わない方については、オンライン参加も可能です。

(3) 内容：別紙1-1「研修概要」のとおり

《第2回研修会》

(1) 日時：令和8年2月25日(水)・26日(木) 13:30～16:30

(2) 実施方法・場所：以下の会場にて集合研修を実施

令和8年2月25日(水)	令和8年2月26日(木)
宇佐会場(大分県北部総合庁舎大会議室)	日田会場(大分県西部総合庁舎大会議室)
日出会場(大分県日出総合庁舎大会議室)	佐伯会場(大分県南部総合庁舎大会議室)
竹田会場(大分県豊肥総合庁舎大会議室)	大分会場(iichiko 総合文化センター中会議室)

※順不同。全て同じ内容ですので、希望の会場にご参加ください。

※都合が合わない方については、オンライン参加も可能です。

(3) 内容：別紙1-2「研修概要」のとおり

6 申込方法・期限

以下 URL から 1/22(木) までにお申し込みください。

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=Eu2GmXEnZk6LXqIiDWsn56nsPd1GRWBilFvi0BA9B1FUOD1TN1hQMlg0V1NZWUk1NTEw0EpIRUFTWC4u>

以上

【本件の問合せ】

(事業全体に関すること)

大分県商工観光労働部 観光局 観光政策課 山田、山橋

TEL:097-506-2116 / FAX:097-506-1729 E-mail:yamada-kenta@pref.oita.lg.jp

(大分県版 DMP の操作等に関すること)

DMP 推進事務局（委託事業者 Vpon JAPAN 株式会社内）

担当：鮎澤、会田 / 080-1470-9661（直通）

第 1 回（1 月実施分）研修カリキュラム概要（計画フェーズ）（案）

〈テーマ〉

観光地域マーケティングの基礎と、データを用いた戦略設計について

〈研修の位置付け〉

本研修は、おおいた観光データカタログを「操作する研修」ではなく、観光施策を考えるための“共通言語”としてデータを使えるようになることを目的とするもの。

〈主な内容〉

1. 観光マーケティングの全体像の理解

観光施策における「セオリー」を踏まえた一連のプロセスを整理して、観光マーケティング全体の構造を体系的に理解するもの。総花的な計画に陥るのではなく、地域ごとに選択と集中によって施策の優先順位を明確にし、評価を前提とした運用の重要性を学ぶもの。

2. 環境分析の考え方

観光施策の目的を「地域経済の維持・拡大」という視点から整理し、宿泊データや訪問データを用いて、地域の現状や課題を客観的に把握する方法を学ぶもの。併せて、得られた現状認識を地域関係者と共有し、共通認識として言語化するための基本的な考え方を身につけるもの。

3. 戦略策定（STP）の基礎

地域特性を踏まえたセグメンテーションの考え方を整理し、ターゲット設定の基本を学ぶもの。また、選定したターゲットに対して、どのような訴求メッセージを設計すべきか、ロジックに基づいて検討することで、施策の質を高める方法論を学ぶもの。

4. 事例共有

他地域の DMO におけるデータ活用事例を紹介し、成果につながった要因や工夫点を整理するもの。その上で、自地域に応用する際の視点や考え方を整理するもの。

〈研修後の到達イメージ〉

「なぜそのターゲットを設定したのか」を、データに基づいて論理的に説明できる、次回研修（アクションフェーズ）に向けて、検討すべき課題が整理できている状態となることを目指す。

別紙 1—2

第 2 回 (2 月実施分) 研修カリキュラム概要 (アクションフェーズ) (案)

< テーマ >

デジタルマーケティング施策と効果測定について

< 研修の位置付け >

本研修は、第 1 回研修で整理したターゲット設定および戦略の考え方を踏まえて、「実際にどのような施策を設計し、どのように効果を評価するか」を学ぶアクションフェーズ。

SNS やウェブサイトといったデジタル施策を単体で捉えるのではなく、来訪や消費につながる一連の流れとして理解し、DMP を活用した一貫した評価・改善の考え方を整理するもの。

< 主な内容 >

1. 施策設計の考え方

第 1 回研修で整理したターゲット設定を前提に、具体的な打ち手 (施策) へと落とし込むプロセスを学ぶもの。SNS・Web 上でのタッチポイントから、比較検討、来訪・消費に至るまでの流れを整理し、観光施策を「点」ではなく「線」として捉える視点を身につけるもの。

2. 媒体別特徴の理解

Instagram、Facebook、ウェブサイトなど、主要な媒体ごとの役割や特性を整理するもの。

併せて、台湾・香港・韓国といった主要市場における SNS 利用状況を踏まえ、ターゲットや目的に応じた媒体選択の考え方を学ぶもの。

3. ユーザー像と KPI の整理

国籍、年齢、性別などの属性と、媒体ごとの強み・弱みを整理し、施策ごとにどのようなユーザーと「つながっているのか」を可視化する考え方を学ぶもの。また、リーチや保存数など、基本的な KPI の位置付けについて理解を深めるもの。

4. 指標の考え方と読み解き方

認知・関心・深度といった段階ごとに、リーチ、インプレッション、保存、エンゲージメント、再生時間、クリック、滞在時間などの指標を整理するもの。あわせて、媒体ごとの仕様や分母の違いによる指標の読み取り方の注意点を学ぶもの。

< 研修後の到達イメージ >

「なぜそのターゲットを設定したのか」を、データに基づいて論理的に説明できる、また、アクションに向けて、検討すべき課題が整理できている状態等を目指すもの。

別紙 2

研修講師紹介

○山口 翔 | 株式会社 Simple Honesty

【略歴】

株式会社ナイトレイ データコンサルティング部の部長として、観光分野におけるデータ活用の普及にも尽力したのち、独立。2024 年度は、KIX 泉州 DMO を支援するなど観光戦略策定やデータ分析、プロモーション支援など多岐にわたる分野で活躍。その実績と知見を活かし、観光業界のデジタル化と持続可能な発展に貢献している。令和 7 年度観光庁 地域周遊・長期滞在促進のための専門家派遣事業 登録。

【担当会場】

宇佐会場、日田会場



○会田 健介 | 株式会社 Vpon JAPAN 株式会社

【略歴】

ネット広告企業で営業経験を経た後、2015 年に Vpon JAPAN に参画。入社以来、大手企業や自治体・行政を担当し、事業拡大をリード。2019 年に JNTO(日本政府観光局) へ出向。企画総室デジタルマーケティングセンターに所属し、広告戦略立案、DMP 構築(観光団体初)、KPI 策定支援、各種研修運営等に携わり 2021 年帰任。現在は、観光 DMP の構築や運用、Vpon が保有する膨大なデータを活用した各種キャンペーン毎の広告配信スキームの設計など担当。

【担当会場】

大分会場、日出会場



○鮎澤 貴 | 株式会社 Vpon JAPAN 株式会社

【略歴】

2008 年 JTB 入社、その後、長野県の観光振興団体にて事務局長を務め、エリアマーケティングを主導。また DMC であるしなの観光(株)を創業、旅行者受入を設計・運営するなど、戦略から収益化までを一気通貫で経験。2020 年より Vpon JAPAN へ参画。データを活用した観光戦略の立案やプロモーション支援に携わる。大阪観光局マーケティングアドバイザー、令和 7 年度観光庁 地域周遊・長期滞在促進のための専門家派遣事業 登録。

【担当会場】

佐伯会場、竹田会場

